

平成31年度

# 教育行政執行方針



## 基本姿勢

本年は、新学習指導要領において、学校教育を通じて、どのような資質・能力を身につけられるようにするか、教育課程を明確にし、学校が家庭・地域と連携・協働により、社会に開かれた教育課程の実現を図るとしています。

また、北海道教育委員会では、各学校の学力向上の取り組みを積極的に支援するため、各市町の学力の結果分析と重点的な改善方策を図るためにロードマップ

を作成し、市町教育委員会との連携強化への取り組みを行っていくこととしています。

そのような状況の中、本町においては、確かな学力・豊かな心・健やかな体づくりを学校経営の基本的な柱とし、英語教育の取り組みや、ICT教育の推進など新たな時代に対応した教育行政を進め、地域教育力を高めるため、地域住民との連携を図るコミュニティ・スクールを導入しながら子ども達の教育の向上を目指していきます。



教育長  
土井 康敬

### 妹背牛町教育目標

1. 命を大切に、明るく活力に満ちた生活を営む人
1. 勤労を尊び、郷土の発展に貢献する人
1. 自然と共生し、住みよいまちを創造する人
1. 豊かな心で、郷土の文化をはぐくむ人
1. 夢と希望を持ち、主体的に学び続ける

## 学校教育の推進



社会の一員として、新しい時代に必要な資質・能力の育成に向け、地域社会に開かれた教育課程の下「知・徳・体」のバランスのとれた児童・生徒の個性を活かした教育を推進していきます。また、本年、コミュニティ・スクールによる地域との連携・協働の充実を図ることを目的として組織化を図り、より力強い地域の教育力の向上を図ります。

そのため、次の重点項目により、地域社会に貢献する人を目指した学校教育を行います。

### 確かな学力の育成

社会を生きるために、適応能力は欠かせない要素であり、主体的に社会に関わりを持つことが重要であると考えます。また、基礎的学力の向上はもとより、職場体験などの様々な経験を積むことにより、得た知恵や知識を、近い将来の実社会に活用できる確かな学力を培っていきます。

そのため、昨年に引き続き、漢字検定、チームティーチング（TT）、職場体験学習などの取り組みを行うとともに、地域教育力の活用を図るため、コミュニティ・スクールの取り組みとして、学校運営協議会を立ち上げ、学校と地域との連携を図り児童・生徒に社会を生き抜く力の育成に寄与していきます。

小学校においては、平成32年度に完全実施される新学習指導要領に取り組むべく英語教育を積極的に取り入れるとともに、タブレット型端末を導入し、プログラミング教育など学年に応じたカリキュラムの構築を図り、教育のICT化を推進します。

中学校においては、「全国学力学習状況調査」や「チャレンジテスト」の結果を分析、具体的な改善策のもと授業の工夫改善を行い、必要とされる基礎的知識・技能の力を培っていきます。

また、生徒一人ひとりが抱く夢や希望を実現させるため、職場体験学習などにより、いずれ関わる現実社会を経験することで、将来に向け今なにを学ぶことが必要かを自ら考えることのできる力を育てていきます。

### 信頼される学校づくり

昨年より準備をしてきました地域住民と小中学校との連携を図るコミュニティ・スクールを導入します。学校運営方針や学校評価などの協議をいただく学校運営協議会を立ち上げ、地域ボランティア人材バンクの設立をはじめ、長期休暇中の学習支援、地元の農産物を活用した食育など地域住民とともに子ども達を育てる事業です。

さらに、学校評価などを通じ学校運営の改善を図り説明責任を果たすことで、学校・家庭・地域の共通理解を深めていきます。

### 特別支援教育

特別な支援を必要とする子ども達一人ひとりの多様な個性は、長所や強みとして生かしていくとの視点に立ち、能力を最大限に伸ばす教育の実現が求められます。

そのために、特別支援コーディネーターを核とし、継続的な支援と、児童・生徒の学ぶ環境の充実を図るとともに、保健師・保育士等関係機関と連携した支援体制を整え、学習支援員の配置や研修会等を通して、個々の状況に応じた学習意欲の向上を図る授業を展開します。

### 豊かな心の育成

今年度からはよりよい未来を築くことのできる人間形成をめざし、中学校でも教科としての道徳授業がはじまります。

また、不登校などの傾向が見られる児童・生徒については、保護者と課題を共有しながら、積極的な支援を行います。

また、いじめ問題については、休み時間などの見守りや、遊びの中にもある、なにげない言葉使いなど、どの場面でも起こりうる問題として児童・生徒への理解を深めることで、未然防止への取り組みを進めます。



## 社会教育の推進



社会情勢は大きく変化し複雑化していく中、地域住民間や世代間交流の希薄化が進み、家庭、地域社会においても人との交流や様々な経験を通じた豊かな人間関係を築くことが難しい時代になっています。

そのため、学習機会の提供を中心として行われる社会教育は、地域住民との関わりや社交の場としても重要な役割を担っています。

新たな趣味への取り組み、高い芸術に触れる機会など、感動する心の育成が、若返りや人生の充実感など、心の余裕への醸成へと繋がり、人生100年を有意義に過ごせる知恵と知識の構築を図ることができると信じ、事業を展開していきます。

## 社会教育事業

社会教育が求める事業として、生涯にわたっての趣味を持つことの重要性を問いながら、多様化する町民の要望に対応する事業を推進していきます。

長寿社会といわれる現在、一生涯をどのように過ごしていくか、生きがいのある生き方とはどのようなものかは、個々の考え方により多種多様化してきました。

社会教育事業で町民の学習ニーズを把握し、家庭・青少年・成人・高齢者、それぞれの領域に対応した事業を実施し、生涯の趣味、あるいはサークル活動として育成していきます。

## 社会体育事業

生涯にわたって健康で充実した生活を送ることは、町民全員の願いであり、それぞれの年代の体力を維持するのに、運動は欠かせない要素です。

基本運動とされているストレッチ・筋力トレーニング・有酸素運動の3つには、その強度により生涯スポーツと競技スポーツに分けられます。生涯スポーツは健康志向に、競技スポーツはより技術の向上をめざし勝負への拘りがより強くなっていきます。

本町においての社会体育事業は、生涯スポーツとして軽スポーツなどの普及などを核とした事業を実施するとともに、競技スポーツについては体育協会を中心とし、競技力の向上を図りながら各種大会への参加支援などを行っていきます。

## 芸術文化事業

芸術文化は、付加価値などを生み出す経済活動への源泉となるといわれ、人々を惹き付ける魅力や社会への影響力をもつ、地域でのコミュニケーションツールとして円滑化の基盤ともなるものです。

過疎化が進む本町において、文化連盟会員の減少に伴う活動の低迷は危惧するところであります。そのために、文化芸術にふれあう機会を提供しながら再構築への切っ掛けをつくっていきます。

また、本年も小中学生のための鑑賞会を実施するほか、舞台公演や美術展示などの優れた芸術文化の鑑賞機会の充実を図るなど、町民の皆さんが芸術文化を身近に感じ、自主的に文化活動に参加できる場と芸術文化に接する機会を提供いたします。

